

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名【新】宿泊施設における持続可能な観光促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光文化スポーツ政策課
サステイナブル・ツーリズム推進室
サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,000	4,909	0	0	0	0	0	0	5,091
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

「持続可能な観光」が世界の潮流となり、国内においても「旅行に関してよりサステナブルな選択をしたい」という意識が10年前の3倍になるなど、旅行者の意識が変わってきている。そのような中、国内で唯一、世界観光機関が主宰する持続可能な観光地づくり国際ネットワーク(INSTO)に加入している本県では、「世界に選ばれる持続可能な観光地」の証となる国際認証の取得地域を5年連続で輩出するなど、取組が進んでいる。

一方で、県内観光事業者は、持続可能な取組みの重要性は認識しつつも、何をすればいいのかわからない、短期的なメリットがないこと等が障壁となり、取組が進んでいないのが現状である。特に宿泊事業者におけるサステナブル・ツーリズムの認知度は低く、本県が県をあげて持続可能な観光に取り組んでいることもあまり知られていない。

本県において更に「持続可能な観光」を推進するためには、地域の国際認証取得に加え、観光事業者、特に宿泊事業者の国際認証取得に向けた取組を推進することが不可欠である。

(2) 事業内容

①宿泊者向けサステナブルセミナーの開催

- ・短期的な収益だけではなく、長期的なコスト削減やブランドイメージ向上につながることを認識してもらい、取組みを始めるきっかけをつくる。
- ・宿泊事業者が取組みやすいように、まず取り組むべき項目を絞り、セミナー等で周知する。

②OTAと連携したサステナブルな宿泊プランの造成・販売

- ・OTAサイト等と連携し、サイト内に本県のサステナブルな取組みをわかりやすく説明する特集ページを掲出するとともに、宿泊事業者が旅行者に響きやすい、地域の食文化の提供や廃棄の削減等に資する宿泊プランを造成し、特集ページに紐づけて販売を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内における観光産業の振興は県が率先して実施すべき事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	
旅費	149	
委託料	9,819	・ 宿泊事業者向けセミナーの開催 ・ O T A と連携した宿泊プラン造成
合計	10,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり

○岐阜県経済・雇用再生戦略

6 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくりプロジェクト

＜サステイナブル・ツーリズムの推進＞

(1) 地域資源の保全・活用による観光地域づくり

(2) 国・他県の状況

・ 本県独自の事業である

(3) 後年度の財政負担

・ 県内全域にわたる持続可能な観光地域づくりの一環であり、今後も継続する

(4) 事業主体及びその妥当性

・ 複数の事業者による地域一体的な取組を支援するものであり、妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

宿泊事業者のサステナブルな取り組みをはじめのきっかけを作り、3年後には、岐阜県版サステナブルな取組みの基準を準拠する宿泊施設を100施設以上、国際認証を取得する宿泊施設を3施設以上を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①観光消費額		4,013億円	3,300億円	3,450億円	(R9) 3,600億円	111.5%
②観光入込客数 (実数)		4,470万人	4,900万人	5,100万人	(R9) 5,300万人	84.3%
③本事業でサステナブルな取り組みをしている宿泊施設数(延べ)				30施設	90施設	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	
令和6年度	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県内観光事業者のサステナブル・ツーリズムの認知度が低く、国際認証等取得に取り組む事業者も少ないため、全県的に「持続可能な観光」を推進するには、宿泊事業者等の国際認証等取得に向けた取組を推進することが不可欠である。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

サステナブル・ツーリズムの取組や国際認証等取得は、短期的に実施できるものではないため、宿泊事業者等に広く取組を促すため継続的な事業実施が必要である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など